

瀬戸川・猪之子川の対策案（ロードマップ）進捗状況（H30.6時点）

※H28.11.18に公表済みの「瀬戸川流域における治水対策について～報告書～」p.11表-2に進捗状況を追記

資料-2

項目	内容	事業主体	対策期間								備考
			短期				中期	長期			
			平成28年度（2016年度）	平成29年度（2017年度）	平成30年度（2018年度）	2019年度	2020年度	2021年度	6～10年目 2022年度～2026年度	11年目以降 2027年度～2036年度	
	対策効果		<p>H29出水期前時点の主な整備効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 【河道先行掘削完了】 ・H28.6降雨規模での越水防止 ⇒越水による再度災害防止 【重点監視区間の設定】 ・水位上昇時の監視体制強化 ⇒氾濫注意水位以上での現地監視 ⇒氾濫注意水位以上での現地監視 【堤防点検の強化】 ・実施頻度の増加による堤防変状の早期把握 ⇒河川管理者による1回/年以上の堤防点検 【基準水位設定】（猪之子川） ・氾濫危険水位設定による避難目安情報 ・地域限定情報として関係機関へFAX ⇒住民の早期避難行動の促進 <p>H30出水期前時点の主な整備効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 【ドレーン工による浸透対策完了】 ・H28.6降雨による浸透被害箇所の対策（瀬戸川3箇所、猪之子川1箇所） ⇒浸透による再度災害防止 【洪水浸水想定区域図の公表】 ・瀬戸川の最大浸水範囲、浸水深を公表（想定最大規模降雨、計画降雨等） ⇒洪水ハザードマップからWeb公表 【河川水位の情報提供】 ・監視カメラ設置による河川状況の可視化 ⇒河川防災情報システムからWeb公表 【自主防災組織の活動支援】 ・防災講座への講師派遣、役員への防災研修 ・防災資器材の提供等 【既存ため池運用見直し】 ・瀬戸池での大雨時の貯水調節 ⇒ため池低水管理による瀬戸川水位低下 【許可工作物の点検実施】 ・施設の機能維持及び不具合箇所の早期把握 <p>H31出水期前時点の主な整備効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 【洪水ハザードマップの公表】 ・洪水による危険度情報の提供 ・避難所及び避難行動の明確化 ⇒住民の早期避難行動の促進 【防災マップ、避難マニュアル作成】 ・学区・地区防災（避難）計画の作成・周知 ⇒住民の早期避難行動及び避難体制確立 								<p>長期対策実施後における主な整備効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 【河川整備計画完了】 ・1/30確率規模降雨に対し、河道内で安全に流下する断面確保 ⇒計画降雨に対するH.W.L以下での流下 【ドレーン工等による浸透対策完了】 ・H.W.L以下水位に対する堤防の浸透被害防止 ⇒堤防の質的向上
瀬戸川流域における治水対策検討会	<p>（第1回）気象・被害状況整理 （第2回）被災原因・対策案 （第3回）今後の整備方針</p>	国・県・市 土地改良区	<p>6月 9月 12月 3月 6月 9月 12月 3月 6月 9月 12月 3月 6月 9月 12月 3月 6月 9月 12月 3月</p> <p>河川氾濫 検討会終了 出水期 出水期 出水期 出水期</p>								<p>◆：瀬戸川流域治水対策検討会 (H28：8/5,9/13,10/18)</p>
河道整備	① 河川整備計画段階的の整備（計画断面先行掘削）	県	<p>整備区間L=700mにおける計画断面の先行掘削 H29.4完了</p>								<p>・河川整備計画区間における計画断面の先行掘削（L=700m）</p>
堤防質的整備	② 河川整備計画の推進（瀬戸川築堤含む）	県	<p>築堤・護岸・用水管等の設計（予備・詳細）外 ※H30秋から用水管（φ1500mm）移設着手予定</p>								<p>・河川整備計画断面の推進（用地買収、築堤）</p>
堤防質的整備	③ ドレーン工等による浸透対策	県	<p>被災箇所の浸透対策工事（4箇所） H30.3完了</p>								<p>・ボーリング調査及び浸透対策工法の決定 ・浸透対策区間及び実施箇所の選定</p>
防災情報の提供	④ 浸水実績等の情報提供	県・市	<p>浸水実績図作成（平成28年11月） 情報提供の継続</p>								<p>・平成28年6月23日洪水時の浸水範囲図作成</p>
	⑤ 洪水浸水想定区域図の作成・公表	県	<p>洪水浸水想定区域図の作成 公表 H30.5.18公表</p>								<p>・広島県河川防災情報システム公表 ・浸水深・浸水範囲解析（先行掘削反映）</p>
	⑥ 洪水ハザードマップの作成・公表	市	<p>公表</p>								
地域との連携	⑦ 河川水位の情報提供（基準水位設定・周知）	県	<p>基準水位を設定 H29.5運用開始 猪之子川河川監視カメラ設置 運用 H30.5運用開始</p>								<p>・広島県河川防災情報システム公表 ・氾濫危険水位等設定（先行掘削反映）</p>
	⑧ 主要箇所への避難経路などの作成支援	市	<p>継続的に支援</p>								<p>・洪水浸水想定区域図を基に見直し</p>
	⑨ 自主防災組織の活動支援	市	<p>自主防災組織活動支援の継続 継続的に支援</p>								
重点監視区間の設定	⑩ 自主防災組織と連携した防災マップの作成及び周知	市	<p>学区・地区防災（避難）計画の作成支援の継続 支援・連携</p>								<p>・現行浸水想定区域図及び見直し後の洪水浸水想定区域図を基に地域支援</p>
	⑪ 自主防災組織による避難マニュアルの作成	市	<p>学区・地区防災（避難）計画の作成支援の継続 支援・連携</p>								<p>・防災マップ作成主体</p>
各施設の効率的・効果的な運用	⑫ 堤防点検の強化	県	<p>裏法前堤箇所も含む現況堤防の点検強化（重点監視の実施）</p>								<p>・職員による出水期前堤防点検実施頻度の増加（1回/年以上）</p>
	⑬ 浸透・侵食に関する重点監視区間の設定（基準水位設定・周知）	県	<p>重点監視区間の設定 H29.3重点監視開始</p>								<p>・堤防点検及びボーリング調査から決定 ・浸透対策区間及び実施箇所の選定</p>
	⑭ 芦田川河口堰の効率的・効果的な運用	国	<p>現行操作の継続</p>								
維持管理	⑮ 樋門・樋管の効率的・効果的な操作	県	<p>※県管理の樋門・樋管なし 運用方法共有 操作の運用開始</p>								<p>・樋門及び樋管の操作方法・規則を検討</p>
	⑯ 瀬戸池等、既存ため池が洪水調節効果を得るための運用	市	<p>治水上、既存施設の機能を最大限に活用 農業用ため池の管理水位を検討 運用を実施 H29.6低水位管理開始 運用を実施</p>								<p>・既存施設の治水機能を活用する管理水位を検討</p>
維持管理	⑰ 許可工作物の点検及び河川管理者への報告	県・市 土地改良区	<p>許可工作物の出水期前点検の継続 必要に応じ 継続的な点検を実施</p>								<p>・許可工作物の出水期前点検の実施（樋門、樋管、水門、排水機場等）</p>
	⑱ 堆積土砂撤去 樹木伐採	県	<p>法音寺橋～稲荷橋及び観音橋～天神橋の土砂撤去等 天神橋～上流200mの土砂撤去等 H30.4完了 必要に応じ、継続的な維持管理を実施</p>								<p>・点検結果を踏まえ、治水上支障となる堆積土砂撤去及び樹木伐採を実施</p>
瀬戸川流域対策フォローアップ	各対策の進捗状況と検討状況について確認	国・県・市 土地改良区	<p>平成30年6月までの取組</p>								

■ ①: 検討・調整等
■ フォローアップ準備
 整備期間
○: 対策効果の一部発現
○: 対策効果の発現
 連携・支援・共有
 運用
 連携・支援・共有（実績）
 ロードマップ番号欄
■ 対策完了
■ 検討後、現行運用を継続または対策不要
■ 対策実施中または今後実施予定